

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は、星川駅の仮3番線切替え工事と高架橋の基礎杭施工についてお知らせいたします。

## 星川駅仮3番線切替え工事について

## 👉星川駅の3番線が切替りました。

当事業で2回目の線路切替えとなる星川駅仮3番線切替え工事が、平成20年10月24日(金)から25(土)にかけての夜間作業により完了しました(写真-①、②参照)。これにより、天王町駅部を除き工事区間の上り線は全て仮の線路に切替りました。あわせて25日(土)始発から、上りホームの乗り場が変更(主要な乗り場が3番線、急行通過待ちや快速接続待ちが4番線)となっております。今後は、下り線を仮の線路に切替えていくこととなります。



## 高架橋の基礎杭工事について

## 👉高架橋基礎杭の施工を開始しました。

今回の連続立体交差事業は、線路を切替えながら高架化を進めていきますが、星川駅では、11月から将来の高架橋における基礎杭工事を開始しています。全体的な施工方法としまして、線路を北側に移設した後の空いた南側のスペースに本設構造物を施工していく手順となっておりますが、線路を切替えなくても施工できる箇所(1番線の南側)や、仮3番線の切替えにより広くスペースの空いた上下線間(3番線と2番線の間)(写真-③参照)を含め、今年度は25本の基礎杭を施工していきます。また、天王町1号～2号踏切間の南側においても、年明けから同様に基礎杭の施工を予定しています。



## ホシテン豆知識(その5)コンクリート場所打ち杭について

今回の事業にまつわる  
キーワードや情報に  
ついてお知らせする  
コーナーです。

現在施工しております基礎杭については、コンクリート場所打ち杭工法を採用しております。この工法は、地盤を掘削した後に現場で組み立てた鉄筋かごを挿入し、コンクリートを打設することにより、現場で杭を造成するものです(写真-④、⑤参照)。旧来の既製の杭を地盤に打ち込んでいく工法と比較して、騒音や振動などの環境面で優れています。

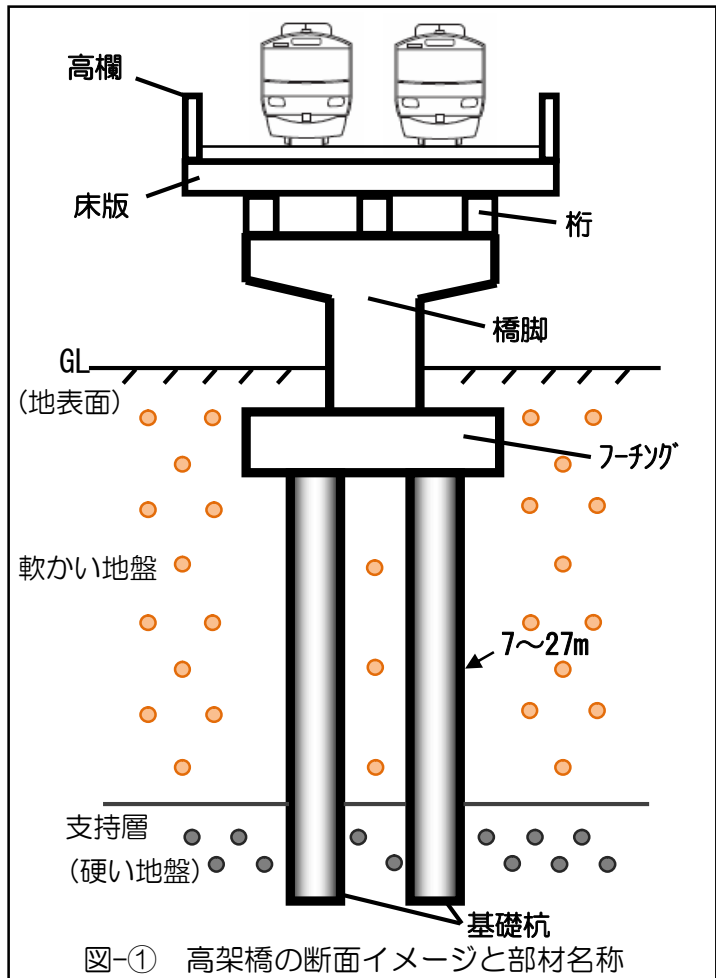
今後、当事業においても工事区間全域で基礎杭を順次施工していきますが、基礎杭は地上の高架構造物とその上を走行する列車の荷重を支えるためのものであり、地中の固い地層に食い込ませるところまで造成します。当事業の工事区間は、帷子川に沿った立地条件で、地表の近くは大きな構造物を支えるには軟らかい地盤であり、今回の事業の高架構造物で造成する基礎杭の長さは概ね7m~27m程度となっております(図-①参照)。



写真-④ 地盤掘削状況



写真-⑤ 鉄筋かご挿入状況



### ~お知らせ~

相模鉄道株のホームページでも、連続立体交差事業に関する「現在の工事状況」や「事業に関するお知らせ」をご覧ください。こちらもおわせてご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.sotetsu.co.jp/train/crossover/>

### ~お問合せ~

○ 事業に関するお問合せ……横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当

Tel 045 (671) 2792

○ 工事に関するお問合せ……相模鉄道株式会社 鉄道カンパニー星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所

Tel 045 (335) 6733